補償処理委費に500万円

水俣病

水俣市が予算措置

渡辺助 臨時市会開き提案 役語る

水俣市は、水俣病補償解決に当たっている水俣病補償処理委員会（千種達夫座長）の費用五百万円の予算措置をする。

東京で開かれた水俣病補償処理委の事情聴取から帰った渡辺水俣市助役の話によると、厚生省の武藤公衛部長から正式に市で予算措置をするよう要望があった。費用内訳は、年末までの解決を見込んで、処理委の旅費、報酬、事務費など概算五百万円。国としては法律に基づいた機関ではなく、直ちに予算措置が取りにくいという理

由。その代わり、今後補助金、特別交付金などで国が市に対して返済する行政手続きを取ることになっている。これに対し市は地元の要請に基づいて設置された機関でもあり、予算措置が取れないために機関の運営に支障があつては補償問題の早期解決にも影響することなどから今月中にも臨時市議会を開き議

案を上程する予定にしている。なお処理委の事情聴取の席上渡辺助役は、公害認定後の現地の状況を説明したほか「十分現地を見たらうえ早急に結論を出してほしい」と要望した。処理委の現地調査は十三日東京で行なわれる患者家庭互助会とチツソの当事者間の事情聴取のあとになるものとみられている。